

エコマツハTF1-100の取付方法

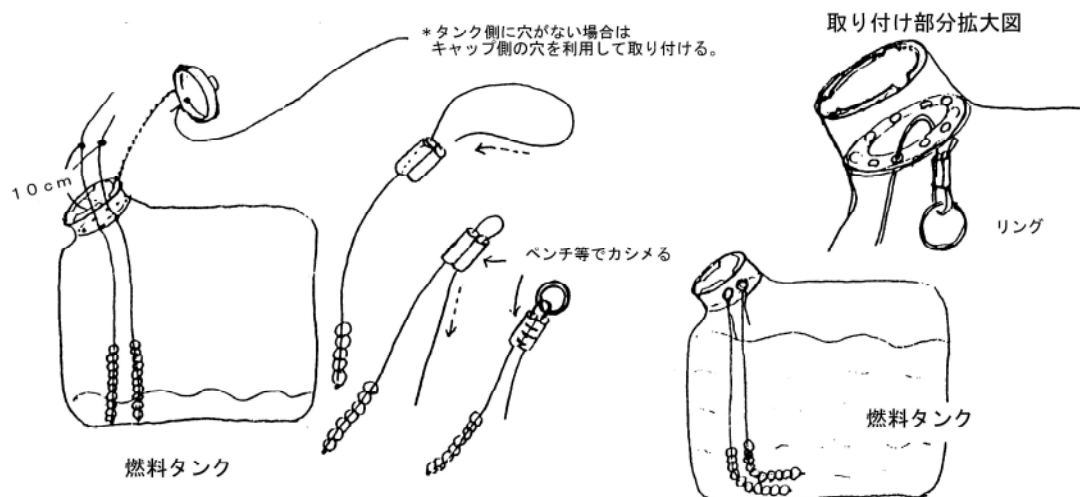
ファイラックインターナショナル(株)
0538-55-4258

取付方法

《エコマツハ装着時は、なるべく燃料が少ないときに行ない、
助触液の関係で、投入後は直ちに満タンにしてください。》

＜下図①を参照し、次の方法で行なって下さい。＞

1. エコマツハを1連づつ燃料タンク内へそーっと吊り下げる。
2. ワイヤーの先をキャップ又は給油口の穴に通し（通らない場合はダルマクリップを外して通す）、エコマツハの先端がタンクの底に着く状態で垂直に立てる（引っ張る）。
3. ワイヤーの長さは、給油口から上10cm位までとし、止めを作る。
止めの方法は、添付のダルマクリップを下図のように差込み、余分な長さは引っ張りだしてから、固定する。（固定はペンチ等で強くカシメて下さい。）
（ワイヤーが長すぎるとタンクの中で絡まったりするので気を付けて下さい。）
4. カシメ部先端の輪に、リング（二重丸カン）を通し止め金とする。
5. 助触液を流し込み、燃料を満タンにする。



取り外して洗浄をしたい場合

1. まず、ワイヤーがフロートゲージ等に巻き付いていないかを確認する。
2. タンク内のエコマツハをそーっと引き出し、タンク口元に付いているリング（二重丸カン）を取りはずす。（回しながら外し、再び取り付けるために、リングを無くさないようにして下さい。）
3. ワイヤーのまま、洗浄液（「エコマツハ助触液」又は「中性洗剤4～5%水溶液」）の中で良く洗う。
4. 再挿入するときは、上記取付方法に従って下さい。

＜注意事項＞

タンク内が汚れていて、エコマツハ容器の穴がふさがってしまいますと燃料と触媒の接触が出来なくなり、触媒効果が発揮されません。

エコマツハを効果的に使用する為に、3ヶ月に1度を目安に「助触液」（別売り）を追加して下さい。（触媒表面をきれいにし、長期使用を可能にします。）

- ・ 洗浄する場合は、「助触液」で行なう方がベターですが、中性洗剤4～5%水溶液でも可能です。良く振って汚れを取り除くように充分洗って下さい。
- ・ エコマツハ挿入後は常に燃料を1/3程度残した状態で給油される事をお勧めします。
- ・ 運転終了時に満タンにすることをお奨めします。

長時間駐車時に満タンにすることは、燃料の改質促進を良好にするだけでなく、燃料の酸化を防止し燃料やタンクにとって良い状態を維持しますので、出来るだけ運転終了時には常に満タンにするよう心掛けて下さい。